

日本設備工業新聞

発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774 (代)
FAX (03) 3464-1884
info@setubikougyo.co.jp
(購読料郵税共) 年極8,000円



TOTO
NEOREST
HYBRID SERIES

きれいな除菌水¹のチカラで、
毎回手間なし除菌²。

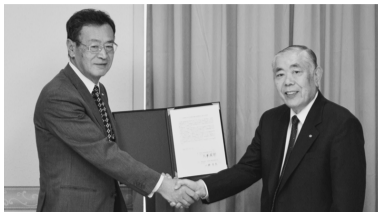
※1-試験機関(財)北里環境科学センター-試験方法:
電解水の除菌力試験・除菌方法:電解した水道水
と濁水を混合し除菌効果を測定・試験結果:99%以上
効果的除菌(きれいな除菌水)は汚れを制御するもので、
清浄不要になるものではありません。使用・環境条件
(水質・硬水成分など)によっては、効果が異なります。
※2-試験機関(財)日本食品分析センター-試験方法:
除菌効果試験・除菌方法:電解した水道水により洗浄
対象部分(スリ)を消毒し、その後水道水・使用水の
菌の繁殖を測定・試験結果:99%以上

災害復旧で全面協力

全管連と管機連が覚書締結

全国管工事業協同組合連合会(大澤規郎会長)と一般社団法人全国管工機材商業連合会(一瀬克彦会長)は五月九日、東京・千代田区のKKRホテル東京で災害時の応急復旧の応援協力に関する覚書の調印式を行った。応急復旧活動を迅速・円滑に遂行するため、両団体の会員団体は地域の実情に見合った資機材提供の協定を締結し、全面的に協力する。これを契機にさらに連携を強め、初動対応共同訓練などの協議を進めていく方針だ。(3面に関連記事)

地域の共同訓練など協議へ



一瀬会長 大澤会長



両団体の役員が揃い調印式

当日は全管連から大澤規郎会長、松田英行副会長、原宣幸災害担当理事、松原文司災害担当理事、粕谷明博専務理事、松本淳司常務理事、管機連から一瀬会長、橋本政昭副会長、恩智秀直副会長、倉地久雄副会長、小泉久則監事、佐々木康雄事務局長らが出席し、松本常務理事の司会で進行。冒頭、原理事が熊本地震の対応について報告に立ち「経験した災害を教訓として命の水を守るために事前準備の体制を構築することが重要だ。覚書を締結することはたいへん大きな第一歩と確信している。いつ起きるかわからない災害に備え、お互い手を携えて頑張っていきたい」と述べた。

続いて松田副会長が覚書締結への経緯を説明。全管連は平成二十一年六月に日本水道協会と災害時の応急復旧活動の応援協力に関する覚書を交わ

し、緊急時における応急復旧工事対応マニュアルを改定するとともに、資機材の確保・調達に向けて協定締結事例集を作成した。平時から大規模災害に備えるため、賛助会員の管工機材商社・建設機械レンタル会社と応急復旧活動の応援協力に関する覚書を締結し、東日本大震災では資機材や緊急物資の搬送などで大きな役割を果たした。こうした取り組みを踏まえ、松田副会長は「両団体による覚書締結が災害時における早期復旧の実現や被災につながっていくことを期待している。関係者のネットワークをさらに強化するため、より一層の支援・協力をお願いする」と訴えた。

両会長による調印後、橋本副会長が今後の連携策について「われわれが力を合わせる意義はきわめて大きい。地域ごとに相互の取り決めを進めていく」と述べ、初動体制の迅速化に向けた訓練などに意欲を示した。

大澤会長は「今回の覚書締結は将来への大きな布石となる。熊本地方の早期復旧・復興をはじめ一致協力して災害への対応に全力で取り組んでいきたい」と力強く表明。

一瀬会長は「市区町村で材料が異なる中、的確に対応されている工事業者の皆さまに敬意を表する。より迅速・円滑に取り組めるよう対応策を提案していきたい」と全面的な協力を約束した。

熊本で水道管路復旧に奮闘

専門家協会、東管協組 請負工事連絡会、三管協組 支援隊が一斉に出動

東京都水道専門家協会(小林光一会長)、東京都管工事業協同組合(佐藤章理事)、協同組合東京水道請負工事連絡会(員澤二郎理事長)、三多摩管工事業協同組合(松田英行理事長)は熊本地震に対応し、二次にわたって水道管路復旧支援隊を派遣した。四団体が一斉に出動したのは今回が初めてで配水管・給水管の漏水調査・修繕などに一致協力して奮闘した。

(3面に関連記事)

四月十四日に発生したマグニチュード六・五の地震に続き、本震とされる十六日のマグニチュード七・三の地震により熊本県では最大四十三万戸が断水した。その後も余震が続く中、四団体は日体から一先ずつ四班・二十四名で編成。専門家協会から平山建設(株)、東管協組から(株)みやび管工、田工務店、三管協組から(株)松田設備が出動した。二十六日朝に出発し、



4団体による第1次支援隊

大阪からフェリーを利用して現地入りし、二十七日から一週間、熊本市内で道路の配水管・給水管の漏水調査・修繕にあたった。現場代理人、作業責任者、配水管工など一班六名で構成され、ユニット車(作業車・資材運搬)一台、保安車一台、ダンプトラック二台、掘削機小型バックホー、照明器具、ランマ、排水ポンプ、塗装切断機、発電機、土留材などを使用。

石綿管が点在しているという情報があり、防護服も準備した。

第二次支援隊は五月二日に出発。大阪からフェリーを利用して、五月三日から一週間、熊本市の配水管・給水管の漏水調査・修繕に努めた。専門家協会から白石建設(株)、管協組から徳丸管工(株)、請負工事連絡会から(株)工業所、三管協組から(株)ホシノが四班・二十四名の体制で出動した。



ポンプの御用命は

水廻りを自由にレイアウト!
小回り効く開発型エンジニアリングセールスの
—管工機材商社—
橋本産業
TEL.(03)3257-7000
http://www.hashitatsu.co.jp


小型圧送強制排水インラインポンプ【即排君II】

高効率を追求するテラル
テラルの新コンセプト「Triple e」による

直結給水ブースタポンプ 新登場!!



直結給水ブースタポンプユニット
MC5型



省電力 30%削減! (当社比)

[年間消費電力量比較]
10,340 kWh (現行型 MC4) vs 7,176 kWh (新型 MC5)
30% Down

[計算条件]
某マンション 総戸数111戸、地上13階建
ポンプ口径50A、ポンプ出力7.5kW

軽量 最大32%ダウン (当社比)
最大60kg低減
新機種 MC5-5050-2.2AD 125kg
従来機 MC4-5050-2.2D 185kg

低振動
防振ゴムによりポンプ振動を絶縁

静音 騒音が最大5dBダウン (当社比)